

## ワークシート・資料編

世界史ワークシート  
地中海周辺と西アジアの帝国

※赤字は生徒の実際の解答例

今回の単元では、「なぜローマが世界帝国となったか」を、単元を貫く問いとして設定します。  
この問いにアプローチするために Step1～5に取り組みましょう。

**Step1** 教科書 p.72～76 を読み、ローマが世界帝国に発展した理由について、「軍事力」、「市民権」、「共和政」、「帝政」のどの要素が最も重要であったか仮説を立て、その根拠を記入しよう。  
(目安時間 10 分)

要素	
根拠	<p>※今回、共和政を選んだ生徒がいなかったため、例は記載していない。</p> <p>(軍事力を選んだ例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対外戦争を繰り返し、領土が拡大され、地中海を統一したから。</li> <li>・軍事力の主力が平民になり、平民の権利を向上させていく中で団結力が強くなったから。</li> </ul> <p>(市民権を選んだ例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習した流れだと、市民権がなければ、反乱などを起こされることもあったため、反乱を起こさせないために市民権を与えることが重要であった。</li> <li>・市民権を与えることで、納税の義務を課すことができ、財源の確保につながったから。</li> <li>・民族を問わず、協力的な都市の自由民や解放奴隷に市民権を与えることが多く、開放的な考えだったから。</li> <li>・平民の権利が守られるので、軍の主力の平民たちの士気が高くなり、軍事力が強くなることを可能にしているから。</li> <li>・市民権を得ることが軍事力の強化につながっている。</li> <li>・同盟市戦争前後に市民権を与える開放的な政策によって、占領地域の反乱を防ぐことができたから。</li> </ul> <p>(帝政を選んだ例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帝政の始まりから約200年間は政治も経済も安定し、「ローマの平和」と言われている。さらにローマ帝国の領土も最大領域になったことも要因か。</li> </ul>

**Step2** Step1の4つの要素について、本時の学習を通じて学んだ知識や理解を深めたことを簡潔にまとめてみよう。(本時で扱わなかったテーマは空白でよい)

(軍事力についての例)

- ・軍紀を乱す者に厳正に対処した。
- ・対外戦争に勝利し、領土が拡大し、安価な穀物が流入した一方で、戦争の長期化によって土地が荒廃し、農民が疲弊した。
- ・農民の没落により、私兵や傭兵を用いるようになり、ローマの軍事力の原則が崩れた。

(市民権についての例)

- ・市民権を与えることで、納税の義務を課し、財源を確保できた。
- ・権利や義務に差がある関係を個別に結んだ分割統治を行い、ローマへの反抗を防いだ。
- ・市民権は男性のみに与えられた。

(共和政についての例)

- ・王がない政治。最初は貴族が独占していた。
- ・元老院を設置。コンスルとディクタトルが中心になった。
- ・貴族共和政から民主共和政になった。
- ・ホルテンシウス法により、対等になった。ところが、元老院が平民会を押さえるように新しく法を作った。

(帝政についての例)

- ・初期の帝政は、元老院や以前の共和政を尊重していた。
- ・執政官、護民官、全軍団の最高司令官などを兼任し、その地位は世襲されたので、事実上、皇帝の独裁政治が始まった。
- ・軍人皇帝時代には、飾りの皇帝を立て、自分たちのいいようにしようとする人たちが現れた。
- ・オクタウィアヌスはローマの第一市民として政治を進めた。

**Step3** 本時の学習を通じて、ギリシアとローマの違いはどのような点があったか。

- ・ギリシアは直接民主政でローマは共和政。
- ・ギリシアは民主政が完成してから、政治体制が一貫していたが、ローマは共和政や帝政など変化した。
- ・ギリシアは、幅広い層の市民が政治参加したが、ローマは元老院が権力を握り、平民の意見が通らなかった。
- ・ローマは統一国家で、古代ギリシアは多数のポリスが集まった国家。
- ・ローマはギリシアより市民権の拡大に寛容。

**Step4** 周囲の意見や今日の授業内容を踏まえて、Step1で立てた仮説を検証してみよう。その際、仮説を立てたときと比べて、自分の考えがどのように変化したかも述べよう。

- ・変化なし(市民権)→市民権を与えられることで得られる強みがあると思う。例えば、「財源の確保」、「民衆の生産性の向上」、「反乱の抑止力」があると思う。特に、市民権があることで、やる気などが高まって、生産性の向上につながると思いました。それにより、さらなる技術革新が行われ、大国になり、長い間繁栄したと思う。
- ・軍事力から市民権→戦争を繰り返した結果、重装歩兵が弱体化する時期があったため、軍事力よりも市民権が共和政の方が重要かもしれないと考え方が変わった。
- ・市民権から共和政→市民権は、市民への影響が少なく、共和政が政治や市民により影響を与えたと思ったので、共和政が一番重要だと思う。三頭政治の時代、貴族共和政のときよりも政治が安定していたので、その後により影響を与えたと思う。
- ・帝政から共和政→帝政の時代は、確かに政治・経済も安定していたと言えるが、帝政が従来の共和政の上に成り立っていたことから、共和政がローマ発展の基盤となり、世界帝国へ発展したと思う。だから共和政がローマにとって重要な要素だと思う。

**Step5** Step1で立てた仮説を検証したり、単元を貫く問いに答えるために、自ら探究したいテーマを設定しよう。テーマ設定は単元のどの段階で行ってもよい。自分がどのタイミングで探究するテーマを設定したかを記録しておくこと。

テーマ:

生徒 A=共和政がローマに与えた影響は何か。現代に引き継がれている共和政は古代ローマ時代のものと似ているのか。

生徒 B=市民権で与えられる権利について知る。

テーマ設定を行ったタイミング:

生徒 A=STEP4でSTEP1の仮説を振り返り、検証したタイミングで考えた。

生徒 B=平民派と閥族派で国内が二分されたことを学んだとき。